

[プレスリリース]

2012年10月16日
富士通セミコンダクター株式会社

インターフェース ブリッジ エスオーシー

10種類のインターフェースを搭載したInterface Bridge SoC新発売

～USB、Serial ATA、PCI Express、Ethernet MAC、TS 他を1チップに集積～

富士通セミコンダクター株式会社(注1)は、ARM®社製 Cortex™-A9 デュアルコアプロセッサと各種インターフェースを1チップに集積した Interface Bridge SoC「MB86E631」を開発し、2012年12月下旬よりサンプル出荷開始します。

本製品は、USB、Serial ATA、PCI Express、Ethernet MAC、TS ほか合計10種類のインターフェースを搭載し、トランスコーダLSI(注2)を制御するCPUとして、またさまざまなインターフェースの制御が必要となる製品に向けて性能と機能の最適化を図ったLSIです。

スマートフォンやタブレットの普及により、携帯端末でのTV視聴を可能とするWi-Fi TVチューナー製品が販売されています。そのような製品にはビデオフォーマットや解像度変換を行うトランスコーダLSIやWi-Fiモジュールが搭載されていますが、これらを制御するCPUとして、レコーダー用のマルチデコーダLSIやネットワーク製品用の通信プロセッサでは性能が過剰であり、マイコンなどの廉価なCPUでは性能が不足するという問題がありました。

一方、レコーダーや録画機能付きTVなどの機器メーカーのお客様からは、接続されるさまざまな装置に対応する各種インターフェースを制御する機能を持ったCPUが必要という要望がありました。

当社は、以上のような処理性能および制御機能に対する市場の要求に最適化したLSIとして、Interface Bridge SoC「MB86E631」を開発しました。

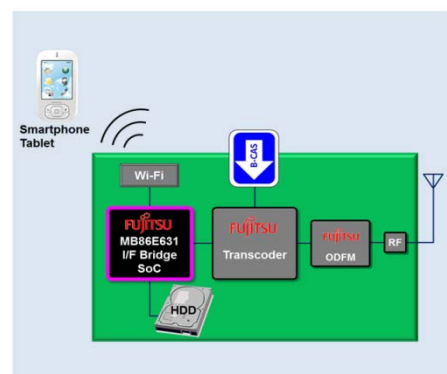


図1. 本製品の適用例 (Wi-Fi TV チューナー)

本製品は、CPU コアに ARM 社製 Cortex-A9 デュアルコアプロセッサ(～500MHz 動作)を採用し、USB2.0/3.0、Serial ATA、PCI Express、Ethernet MAC、TS ほか、合計10種類のインターフェースを1チップに集積しています。トランスコーダLSIとの組み合わせで実現するWi-Fi TVチューナー用SoC(注3)としての利用だけでなく、複数のインターフェース制御が必要となる多チューナー搭載製品などのインターフェース制御用CPUにも利用することが可能です。加えて、映像の配信や録画を行う製品に限らず、本製品により、マイコン以上の性能かつ各種インターフェースを必要とする新市場を開拓していきます。

当社は今後とも、映像処理LSIを中心とした新しい技術・製品を展開し、さまざまな製品向けのソリューションを提案していきます。

【サンプル出荷時期】

製品名	出荷時期
MB86E631	2012年12月下旬

【販売目標】

月産10万個

【本シリーズの特長】

1. 10種類のインターフェースを搭載

USB2.0/3.0、Serial ATA、PCI Express、Ethernet MAC、TS、UART、I²C、およびメモリアンターフェースにDDR3、Quad Serial Flash Controller を搭載し、トランスコーダ LSI を制御する CPU、また複数のインターフェース制御が必要となる多チューナー搭載製品のインターフェース制御用 CPU など、さまざまな製品に利用することが可能です。

2. ARM 社製 Cortex-A9 デュアルコアプロセッサ搭載

搭載している各種インターフェースを制御するのに最適な CPU コアを採用しています。

3. Wi-Fi TV チューナーソリューションを提供

本製品と当社製トランスコーダ LSI を搭載したリファレンスボードを提供します。Wi-Fi TV チューナーソリューションとして DLNA (注4) に対応した Linux 用リファレンスソフトも用意していますので、製品化が容易です。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

ARM®および Cortex™ は ARM 社の商標または、登録商標です。

【注釈】

注1 富士通セミコンダクター株式会社：本社 神奈川県横浜市 代表取締役社長 岡田 晴基。

注2 トランスコーダ LSI：ビデオフォーマット (MPEG-2, H.264) の変換、解像度変換などを行う LSI。当社製トランスコーダ LSI 「MB86H57/MB86H58」, 「MB86M01/MB86M02/MB86M03」が発売中。

注3 SoC (System-on-a-chip)：必要とされる一連の機能を集積した LSI。

注4 DLNA (Digital Living Network Alliance)：デジタル時代の相互接続性を実現させるための標準化活動を推進している団体。

【関連 Web サイト】

Interface Bridge SoC 「MB86E631」 <http://jp.fujitsu.com/microelectronics/products/assp/ifsoc/>

富士通セミコンダクター <http://jp.fujitsu.com/group/fsl/>

以上

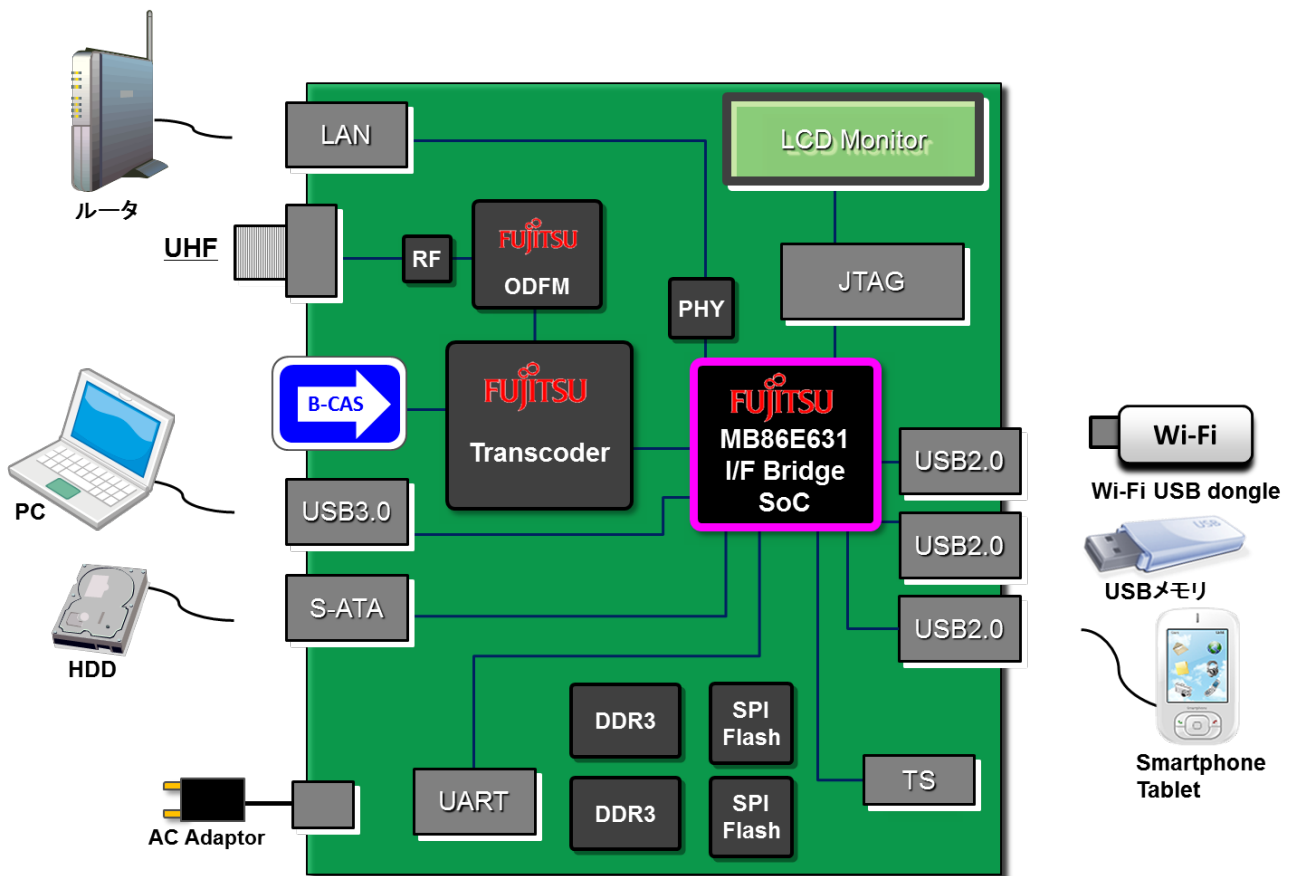
プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【添付資料】

【「MB86E631」の主な仕様】

プロセッサ	Cortex™-A9 デュアルコア, Max500MHz
インターフェース	USB2.0 Host / Device (x3) USB2.0/3.0 Device (x1) Serial ATA Host Gen2 PCI Express Gen1 Ethernet MAC 1000/100base TS input (Serial) UART I ² C
メモリアンターフェース	DDR3-600MHz, 16bit Quad Serial Flash Controller
パッケージ	FBGA 426ピン(16mm角), ボールピッチ0.65mm

【リファレンスボード構成図】



【製品写真】

